

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 佐賀県西松浦郡有田町大樽2丁目3番21号
団 体 名 特定非営利活動法人灯す屋
代表者職・氏名 代表理事 佐々木 元康

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年5月6日付け県協第278号及び令和2年8月17日付け県協第946号及び令和2年11月6日付け県協第1472号及び令和3年2月5日付け県協第2029号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	空き物件の管理及び活用推進事業・移住定住支援事業・後継者育成支援事業
寄附受入額	金 19,142,300 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. 空き店舗の活用推進事業</p> <p>■期間:令和2年4月から令和3年3月</p> <p>■場所:有田町内山地区</p> <p>■対象者:空き店舗所有者、出店者、観光客</p> <p>■事業の要旨</p> <p>有田町内に複数存在する空き店舗を活用し、地域全体を会場としたマルシェイベント「うちやま百貨店」を令和2年11月22日及び23日に開催した。コロナ禍での開催の為、感染拡大防止策とイベントの魅力を両立すべく、学生および社会人インターンの協力のもと「関所(検温・消毒などを実施する場所)の設置」「レジ前おむかえアートの設置」などの企画を実施、地域の魅力が伝わる工夫を取り入れての開催となった。</p> <p>2. 移住相談窓口業務</p> <p>■期間:令和2年4月から令和3年3月</p> <p>■場所:佐賀県内</p> <p>■対象者:移住希望者</p> <p>■事業の要旨</p> <p>有田町または佐賀県に移住を検討している方々の相談を受け、有田町及び佐賀県の情報、あるいは住まいや仕事の情報等を調査した。移住希望者がスムーズに佐賀県への移住を達成できるように、寄り添う形で移住伴走支援(オンライン相談を含む)を行った。</p> <p>有田町お試し住宅に体験移住した7組に対しても、それぞれ相談対応をするなど伴走支援を実施した。</p> <p>3. 空き物件相談窓口業務</p> <p>■期間:令和2年4月から令和3年3月</p> <p>■場所:有田町内</p> <p>■対象者:空き物件所有者、空き物件活用希望者</p> <p>■事業の要旨</p> <p>有田町に空き物件を所有している方のお困りごとを聞き、問題解決に向けた対応を伴走支援により行った(オンライン相談窓口を含む)。活用希望者に対しては活用したい物件の希望を伺い、不動産業者や建築業者とも連携しながら、活用可能な物件の紹介や改修等の支援を実施した。</p> <p>相談件数は52件あり、上記の関係業者、行政などのメンバーで構成される「有田町空き家活用推進ネットワーク」で、月1回の頻度で集まり情報共有を行った。その結果、ネットワークを通じて1件の空き物件を市場に出すことができた。</p> <p>以上、上記事業に係る不足する財源をふるさと納税の寄附を活用し実施致しました。</p>	

事業実施の成果・効果（見込み）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

1. 空き店舗の活用推進事業

・空き店舗所有者が有田陶器市以外の期間でも空き店舗活用ができた。うちやま百貨店では14件の物件を活用し、イベント開催を実施した。

2. 移住相談窓口業務

・窓口での相談対応や情報発信により、コロナ禍以降、佐賀県への移住者の増加に繋がることを期待している。

3. 空き物件相談窓口業務

・有田町内の空き物件を活用することができ、空き物件数を減らすことができた。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		空き物件の管理及び活用推進事業・移住定住支援事業・後継者育成支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	19,142,300	第1回交付:1,320,500円
			第2回交付:1,302,300円
			第3回交付:1,602,000円
			第4回交付:14,917,500円
		収入計	19,142,300
支 出	人件費	5,666,300	
	旅費交通費	553,262	
	通信運搬費	116,126	
	消耗品費	1,036,583	
	法人運営費	1,300,355	
	返礼品の調達に係る費用	5,420,000	
	返礼品の送付に係る費用	734,377	
	事務に係る費用	380,000	
	広報に係る費用	280,000	
	繰越金	3,655,297	
		支出計	19,142,300

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。